

# 超高速沈殿装置 (スパイラルセパレータ)

## スパイラルセパレータとは

- らせん状傾斜板 (プレートパック) を持つ超高速沈殿装置です。
- 傾斜板を回転させることにより、高速化を実現しました。

## 特徴

- 高速化により従来型沈殿池の1/10以下の設置面積で代替可能です。
- 従来型に比べて2~3倍の高濃縮汚泥の回収が可能です。
- プレートの回転を液上昇速度に合わせることで、プレートでの乱流を抑え、従来型より優れた個液分離を実現しました。

## 適用範囲

- 最初沈殿池
- 最終沈殿池

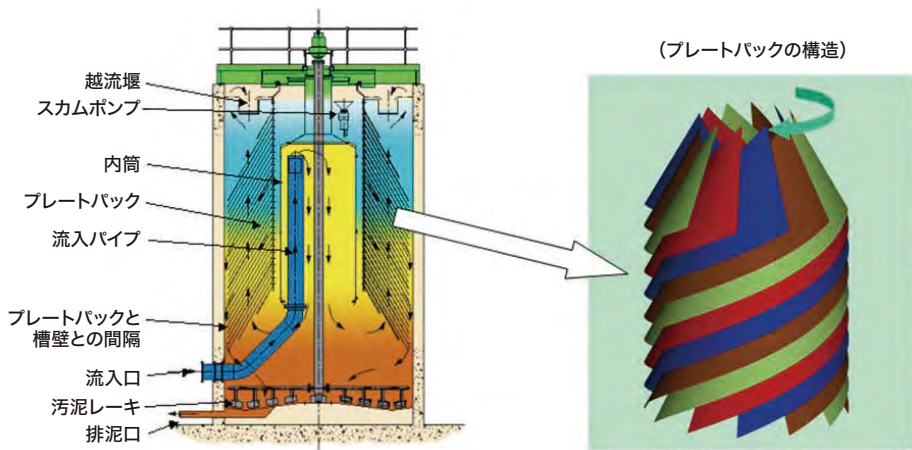


図-1 断面構造

- 3) 返流水のSS回収
- 4) 重力濃縮槽の代替
- 5) 合流改善
- 6) 高度処理用
- 7) 上水沈殿池

## 実績

- 1) 下水最初沈殿池…………… 4ヶ所 14基
- 2) 浄水場砂ろ過逆洗水…………… 1ヶ所 1基
- 3) その他下水汚泥の返流水処理用 …… 5ヶ所 6基

## 実施例

1. 適用箇所：汚泥処理センターの返流水処理
2. 設備内容 (建設年) 2003年  
(径/基数) φ3m × 1基  
(処理量) 6,900m<sup>3</sup>/日

表-1 製品ラインアップ

型番	SST-1.5	SST-2.5	SST-3.5	SST-5.0	SST-7.0	SST-10.0
水槽径 (m)	1.5	2.5	3.5	5.0	7.0	10.0
水槽高さ (m)	3.9	5.5	6.8	8.8	10.5	13.0
処理量 (m <sup>3</sup> /日)	410	1,700	3,700	11,000	23,000	62,000
水面積負荷 (m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> /日)	230	350	390	390	600	790

\*1 本数値は最初沈殿池基準における数値です。  
\*2 同一型番における処理量は±30%増減できます。

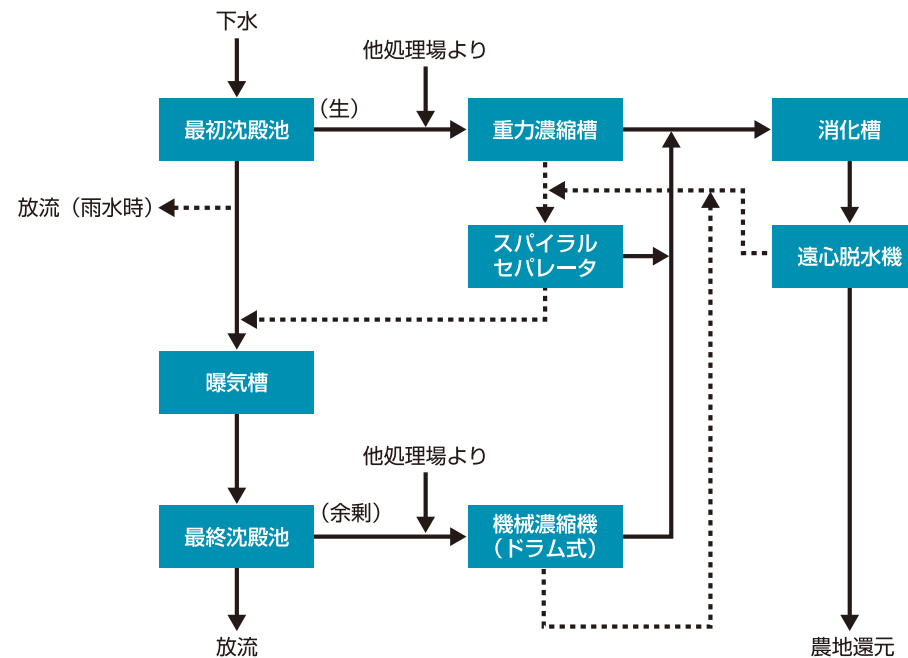


図-2 実施フロー例